

# 施策マネジメントシート(2019年度の振り返り、総括)

作成日 2020 年 6 月 19 日

基本目標	II	豊かな自然と共生するまち	主管課	名称 農林課 課長 原澤 真治郎
施策	16	獣害対策の推進	関係課	

施策の目的	対象	意図	基本事業名	対象	意図
町民	鳥獣による被害にあわない。		1 鳥獣が出没しにくい環境整備	町民	鳥獣による被害の危険性が軽減される。
			2 農林産物被害の軽減	農家	鳥獣による農林産物の被害が軽減される。
			3 人的被害対策の推進	町民	鳥獣による人身被害にあわない。
			4		

施策の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民と行政が一体となり、野生鳥獣が出没しにくい環境整備を推進します。</li> <li>・被害関係者と協働による侵入防止柵等の守る対策や、追い払い活動を推進するとともに、捕獲活動を強化し、鳥獣被害の軽減を図ります。</li> <li>・出沒・目撃情報の収集と提供により、事故の未然防止や安全確保に努めます。</li> </ul>
---------	--

施策の成果指標	成果指標名	単位	区分	2016年度(H28)	2017年度(H29)	2018年度(H30)	2019年度(R1)	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)
				A	鳥獣による農林産物被害金額	千円	実績値	7,455	7,221	6,454
B	鳥獣による農林産物被害面積	ha	実績値	9.0	8.4	8.6	7.7			
			目標値		9.0	9.0	8.5	8.0	7.5	7.0
C			実績値							
			目標値							
D			実績値							
			目標値							
E			実績値							
			目標値							

指標設定の考え方と実績値の把握方法	A)B) 被害が減少すれば対策の効果が現れているといえるため、成果指標とした。 (野生鳥獣による農作物の被害状況調査により把握)
-------------------	---

目標値設定の考え方	A)B) 農業被害額は2016年で約7,500千円であるが、有害鳥獣の出没目撃数が隔年で増減し、成り行き値では想定できないが、侵入防止柵(電牧柵)の設置支援や追い払い、個体数調整(捕獲)などに取り組むことにより、被害額・被害面積の増加を抑制する。
-----------	---

施策のための役割・目標達成	1. 町民(事業所、地域、団体)の役割	2. 行政(町、県、国)の役割
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未収穫農産物や野菜くず等を農地に放棄しない。</li> <li>・出沒した鳥獣の追い払いを行う。</li> <li>・農地の荒廃化を防ぎ、集落に隣接する林野の刈り払いを行うなど、獣が出没しにくい環境を整備する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・獣が出没しにくい環境を整備するための支援を行う。</li> <li>・有害鳥獣の個体数調整を行う。</li> </ul>

施策を取り巻く状況	1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか?	2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥獣保護法が改正され、以前より駆除等に取り組みやすくなった。一例として一定の条件のもと捕獲業務を民間事業者へ委託することや、夜間の銃器駆除も許可を受けることにより可能になった。</li> <li>・県の適正管理計画(シカ、イノシシ、サル、カワウなど)の策定により、捕獲目標頭数が明確に示された。基本的には個体数を減少させ被害額の軽減に努めることであるが、サルについては群れの数を83群から50群(平成15年度水準)としており、広域による取り組みが求められる。</li> <li>・イノシシやシカやクマ、サル等の市街地への出沒が確認されており、獣害対策は中山間地域の課題では済まなくなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農林業で獣害被害に不安を感じるとの意見が多くある(町民アンケート)。</li> <li>・有害鳥獣の駆除を可能な限りしていただきたい(町民アンケート)。</li> <li>・獣害パトロールによる成果が見えにくい(町民アンケート)。</li> <li>・捕獲個体の処理施設の設置要望がある(捕獲従事者から)。</li> </ul>

施策	16	獣害対策の推進	主管課	名称	農林課
				課長	原澤 真治郎

施策の成果水準の分析と背景・要因の考察	実績比較		背景・要因		
	①時系列比較	<input type="checkbox"/> かなり向上した。 <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば向上した。 <input type="checkbox"/> ほとんど変わらない。(横ばい状態) <input type="checkbox"/> どちらかといえば低下した。 <input type="checkbox"/> かなり低下した。	①被害面積は平成30年度8.6haであったが令和元年度7.7haと減少傾向にあり、また被害額も平成30年度6,454千円から令和元年度5,952千円と減少した。侵入防止柵(電牧柵)を累計約190km整備したことや、地域での追い払い活動を推進するため、町から追い払い用煙火を支給しており、地域ぐるみの取り組みが行われるようになったことが要因の一つになったと考えられる。		
	②他団体との比較	<input type="checkbox"/> かなり高い水準である。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば高い水準である。 <input type="checkbox"/> ほぼ同水準である。 <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば低い水準である。 <input type="checkbox"/> かなり低い水準である。	①令和元年度の農地面積被害割合は、みなかみ町0.32%、沼田市0.19%、片品村0.69%、川場村0.10%、昭和村0.16%。また、農地1ヘクタールあたりの被害金額は、みなかみ町2,466円、沼田市1,589円、片品村5,417円、川場村1,928円、昭和村1,918円という結果であった。地形や標高等条件は異なるが、単位面積に換算し比較すると、どちらかと言えば低い水準といえる。  ※管内各市町村の農地面積は令和元年度固定資産の概要調書を参照。 みなかみ町2413.7ha、沼田市4207.9ha、片品村1045.8ha、川場村524.8ha、昭和村2667.9ha		
	③目標の達成状況	<input type="checkbox"/> 目標値を大きく上回った。 <input checked="" type="checkbox"/> 目標値を多少上回った。 <input type="checkbox"/> ほぼ目標値どおりの成果であった。 <input type="checkbox"/> 目標値を多少下回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を大きく下回った。	①被害金額目標値6,500千円に対して実績値5,952千円、被害面積目標値8.5haに対し実績値7.7haとなり、ともに減少し目標値を上回った。		

基本事業名	成果指標名	単位	区分	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
				1 鳥獣が出没しにくい環境整備	A 鳥獣追い払い用花火等の配布数/追い払い煙火受講者数	個/人	実績値	4,927/178	3,272/181	3,514/190
			目標値		5,000/181	5,000/185	5,000/190	5,000/195	5,000/200	5,000/200
	B		実績値							
			目標値							
2 農林産物被害の軽減	A 侵入防止柵の延長	km	実績値	8.7	8.2	4.9	20.5			
			目標値		5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
	B		実績値							
			目標値							
3 人的被害対策の推進	A 獣による人的被害者数(町内の人/町外の人)	件	実績値	0/2	0/1	2/2	0/0			
			目標値		0/0	0/0	0/0	0/0	0/0	0/0
	B		実績値							
			目標値							
4	A		実績値							
			目標値							
	B		実績値							
			目標値							

基本事業名	今後の課題	今後の取り組み(案)
2 農林産物被害の軽減	①有害鳥獣の捕獲を実際に行う捕獲隊員が少ない。 ②侵入防止柵を少人数で整備しているため、非効率であることから広域的な取り組みが必要である。	①有害鳥獣捕獲奨励金の額の見直しを行い、捕獲活動・処理に見合った額に変更する。 ②侵入防止柵を集落全体を囲うように地域ぐるみで協力できるように推進していく。
3 人的被害対策の推進	①人的被害は狩猟期以外の山菜・キノコ採り等において発生する、ツキノワグマの加害ケースが多く、被害に遭わないための周知が課題となっている。 ②ニホンザルの市街地への出没や通学路での目撃は続いており、住民や観光客などに配慮した対策を講ずる必要がある。	①登山道等への注意を周知する看板の設置及び町報や回覧による注意喚起を継続的に行う。更に頻繁に出没する個体については積極的に捕獲する。 ②追い払い用煙火を地域の方々に配布し、地域全体での追い払い体制を構築していく。
4		

## 16\_獣害対策の推進

令和 元 年 8 月 20 日作成 (令和 2 年 6 月 12 日更新)

事務事業	000001	有害鳥獣情報収集・管理事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	6,566,347 円				
施策体系	施策	16	獣害対策の推進			有害鳥獣の出没及び被害状況の情報収集し、農林産物等の被害低減に役立てる。また、猿追跡用発信器取付に係る、麻薬使用許可の申請及び捕獲野猿麻酔用薬剤購入、野猿追跡調査員の選定、指導、委託契約事務。	出没・目撃情報を有効活用する方法の検討	事業実績					
	基本事業	01	鳥獣が出没しにくい環境整備					②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	追跡調査員数			
根拠	無	組織	農政	課	獣害対策	係	出没情報等収集した情報を農作物被害の低減に役立てる必要がある。	特になし	平成30年度	令和元年度	単位		
事業期間	継続事業 ～ 年間		会計	1	款	6			項	2	目	2	5

令和 元 年 8 月 20 日作成 (令和 2 年 6 月 12 日更新)

事務事業	000003	鳥獣被害対策実施隊運営事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	2,479,749 円				
施策体系	施策	16	獣害対策の推進			鳥獣被害対策実施隊を編成し対象鳥獣(ニホンザル)の追い払い及び捕獲を行う	特になし	事業実績					
	基本事業	01	鳥獣が出没しにくい環境整備					②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	ニホンザル捕獲数			
根拠	有	組織	農政	課	獣害対策	係	・実施隊員は実施隊活動を生業としていないため、活動を充実させることは個人の負担が増加する。 ・住民の理解をえることはもちろんのこと、行政による支援を充実させる必要がある。	特になし	平成30年度	令和元年度	単位		
事業期間	継続事業 H ～ 年間		会計	1	款	6			項	2	目	2	108

令和 元 年 8 月 20 日作成 (令和 2 年 6 月 12 日更新)

事務事業	000004	鳥獣被害防止パトロール事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	121,937 円				
施策体系	施策	16	獣害対策の推進			臨時職員としてパトロール隊員を雇用して、捕獲オリの設置・見回り・捕獲・処分を実施する他、有害鳥獣の追い払いパトロールを実施する。	地域住民と積極的に関わり、出没情報の収集や被害に遭わないための指導の実施。	事業実績					
	基本事業	01	鳥獣が出没しにくい環境整備					②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	有害鳥獣の捕獲数			
根拠	無	組織	農政	課	獣害対策	係	地域住民や農業者が追い払い活動に参加できる仕組みづくり	引き続き猿檻の管理捕獲は継続しながら、地域の要望等の聴取も行う。	平成30年度	令和元年度	単位		
事業期間	継続事業 H ～ 年間		会計	1	款	6			項	2	目	2	855

令和 元 年 8 月 20 日作成 (令和 2 年 6 月 12 日更新)

事務事業	000001	有害鳥獣捕獲奨励金交付事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	6,608,990 円				
施策体系	施策	16	獣害対策の推進			イノシシ、ニホンジカ、ニホンザル、ハクビシン、アライグマの捕獲及び処分することにより奨励金を交付する。	捕獲奨励金の増額の検討を行った。	事業実績					
	基本事業	02	農林産物被害の軽減					②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	奨励金支払件数			
根拠	有	組織	農政	課	獣害対策	係	有害鳥獣の捕獲資格者は、捕獲活動を生業としていないため、活動を充実させることは個人の負担が増加する。 住民の理解を得ることはもちろんのこと、行政による支援を充実させる必要がある。	捕獲活動の大変さに見合った捕獲奨励金の増額の検討。	平成30年度	令和元年度	単位		
事業期間	継続事業 H ～ 年間		会計	1	款	6			項	2	目	2	251

## 16\_獣害対策の推進

令和 元 年 8 月 20 日作成 (令和 2 年 6 月 12 日更新)

事務事業	000002	困いワナ・捕獲おり貸出事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	252,549 円				
施策体系	施策	16	獣害対策の推進			困いワナ・捕獲おり等の有害鳥獣の捕獲用具を購入し必要に応じて貸し出しを行う。	ククリワナを中心に捕獲資材を貸し出した。	事業実績					
	基本事業	02	農林産物被害の軽減					②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	貸し出し件数 (ハクビシン檻+イノシシ檻+ククリワナ)			
根拠	有	組織	農政	課	獣害対策	係	地域の協力、わな免許の取得者を増やす。	捕獲檻など不足の無いように準備する。	平成30年度	令和元年度	単位		
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1	款	6			項	2	目	2	1,100

令和 元 年 8 月 20 日作成 (令和 2 年 6 月 12 日更新)

事務事業	000003	有害鳥獣追い払い事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	788,136 円				
施策体系	施策	16	獣害対策の推進			有害鳥獣の農作物等被害を軽減するため、追い払いの資材(轟音玉、駆除雷3連発等)を購入し、農業者等追い払いを実施する方に交付する。	動物駆逐用花火の新規資格取得に対して費用を町で負担した。	事業実績					
	基本事業	02	農林産物被害の軽減					②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	資材(轟音玉、駆除雷3連発等)交付件数			
根拠	無	組織	農政	課	獣害対策	係	農業者等に積極的に追い払いに協力してもらう必要がある。	地元農業者に積極的に追い払いに協力していただく。	平成30年度	令和元年度	単位		
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1	款	6			項	2	目	2	3,514

令和 元 年 8 月 20 日作成 (令和 2 年 6 月 12 日更新)

事務事業	000004	猟友会活動支援事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	2,768,125 円				
施策体系	施策	16	獣害対策の推進			利根沼田猟友会月夜野支部、水上支部、新治支部の運営全般に渡る事務を行う。	狩猟者登録に必要な経費の一部を補助した。	事業実績					
	基本事業	02	農林産物被害の軽減					②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	猟友会員数			
根拠	無	組織	農政	課	獣害対策	係	新規入会者が少ないため、高齢化が進んでいる。	銃砲やワナの資格を取りやすい環境の整備	平成30年度	令和元年度	単位		
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1	款	6			項	2	目	2	103

令和 元 年 8 月 20 日作成 (令和 2 年 6 月 12 日更新)

事務事業	000005	有害鳥獣侵入防止柵設置事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	12,165,440 円				
施策体系	施策	16	獣害対策の推進			有害鳥獣が田畑等に侵入するのを防ぐため電気柵等の侵入防止柵を設置する費用に対する補助金の交付。	電気柵設置農家にできるだけ多くの農地を取り込むよう依頼した。	事業実績					
	基本事業	02	農林産物被害の軽減					②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	電気柵設置力所数			
根拠	無	組織	農政	課	獣害対策	係	電気柵を設置していない田畑等に有害鳥獣が出没が増えている。	できるだけ広範囲に電気柵を設置する。	平成30年度	令和元年度	単位		
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1	款	6			項	2	目	2	4